



就職活動についての調査レポート

2009/12/1

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

調査概要

調査タイトル:	就職活動についてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2009/11/19 12:35 ~ 2009/11/24 11:53
回答モニタ数:	379

ネットマイルでは就職活動について、2009年11月19日から2009年11月24日にかけてアンケート調査を実施した。対象となった回答者は、アンケートに協力した5,339名中、現在「大学3年」あるいは「大学院1年」で、かつ「2011年度採用に向けて就職活動中」あるいは「2011年度採用にて就職活動をする予定」の学生379名とした。

回答者の状況は「男性」52.8%、「女性」47.2%。年代は「20歳」20.6%、「21歳」36.7%、「22歳」16.6%、「23歳」15.6%、「24歳」7.1%、「25歳」3.4%。婚姻状況は「未婚」が99.5%、「既婚」が0.5%。居住地域は「北海道・東北地区」が9.8%、「関東地区」が45.9%、「北陸・甲信越地区」が2.6%、「東海地区」が5.3%、「近畿地区」が22.4%、「中国地区」が4.0%、「四国地区」が1.3%、「九州・沖縄地区」が8.7%。学年は「大学3年」が74.9%、「大学院1年」が25.1%。専攻は「文系」が55.1%、「理系」が44.9%であった。

回答の結果から、就職先として「食品・飲食系」に対する注目度が昨年よりアップしたことがわかった。

6割近くの学生が2009年7月から2009年12月までに就職活動を開始すると回答しており、2011年度採用において就職活動をする学生の動き出しが、若干早まっているといえそうだ。また内定の数については“とにかく1つ”を願う学生が昨年より増加しており、長期戦となる就職活動において、ひたむきに頑張ろうとしている学生の様子がうかがえる結果であった。

以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

「食品・飲食系」に対する注目度アップ

「あなたが今就職先として最も興味を持っている業界についてお答えください。」という質問をおこなった。

全体では、1位が「IT・通信・情報系」10.0%、2位が「食品・飲食系」9.2%、3位が「医療・福祉系」9.0%、4位が「マスコミ・広告・出版・印刷系」8.7%、5位が「電気・電子・機械系」7.9%という結果であった。

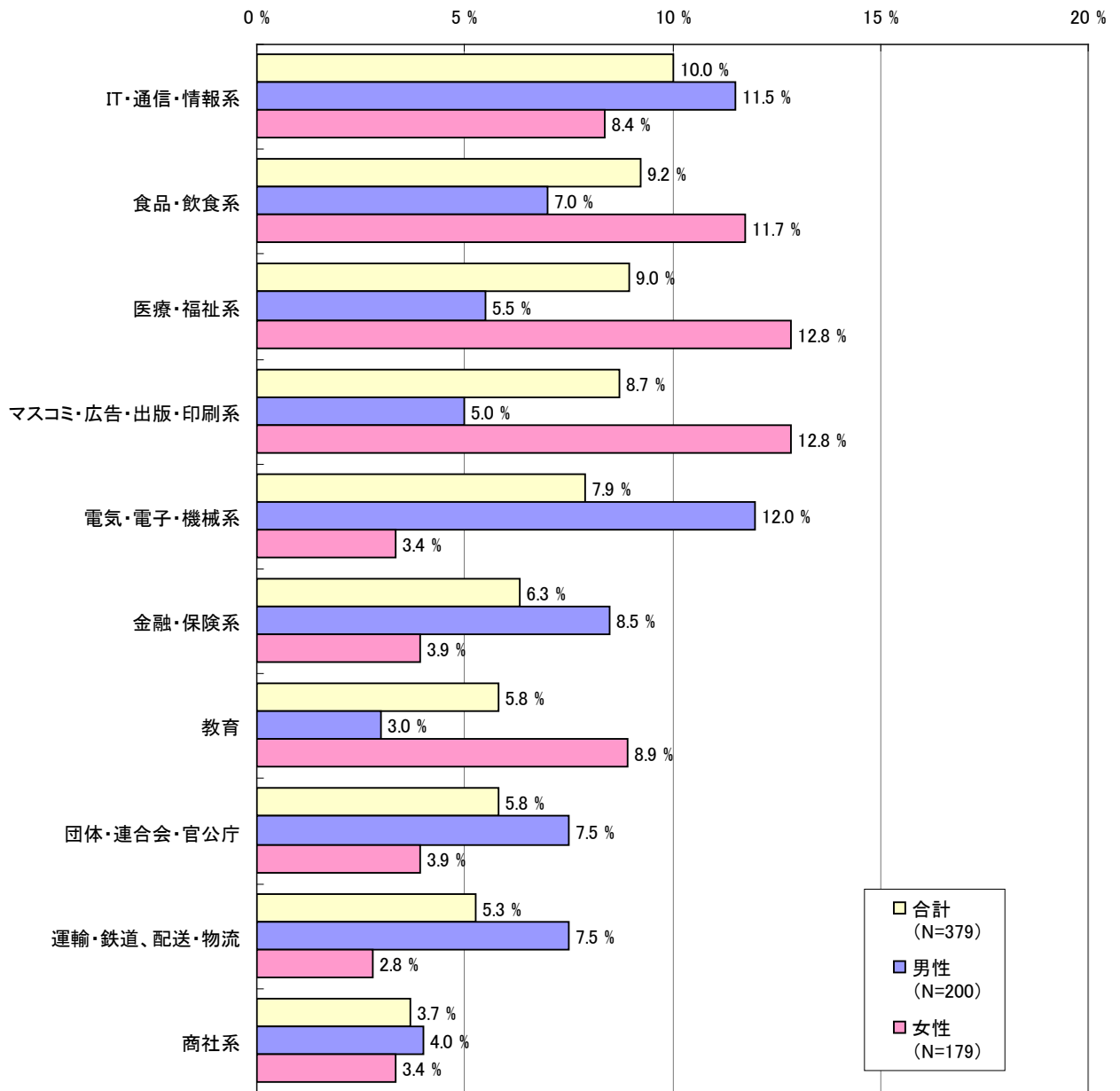
男女別にみても、男性は「電気・電子・機械系」の回答率が12.0%と最も高く、次いで「IT・通信・情報系」が11.5%、「金融・保険系」が8.5%と続いた。一方、女性は「医療・福祉系」と「マスコミ・広告・出版・印刷系」の回答率がともに12.8%と最も高く、次いで「食品・飲食系」が11.7%、「教育」が8.9%と続いた。

また、文系・理系別にみても、文系は「マスコミ・広告・出版・印刷系」の回答率が14.4%と最も高く、次いで「食品・飲食系」が11.8%、「金融・保険系」が10.0%と続いた。一方、理系は「IT・通信・情報系」と「電気・電子・機械系」の回答率がともに15.9%と最も高く、次いで「医療・福祉系」が14.7%と続いた。

昨年同時期にネットマイルで実施した同様の調査(N=200)では、全体1位が「IT・通信・情報系」で15.5%、2位が「マスコミ・広告・出版・印刷系」で11.5%、3位が「医療・福祉系」で10.0%、4位が「電気・電子・機械系」で8.0%、「金融・保険系」が7.5%という結果であった。昨年と比較すると、「マスコミ・広告・出版・印刷系」は下降トレンド、反対に「食品・飲食系」が上昇トレンドといえそうだ。

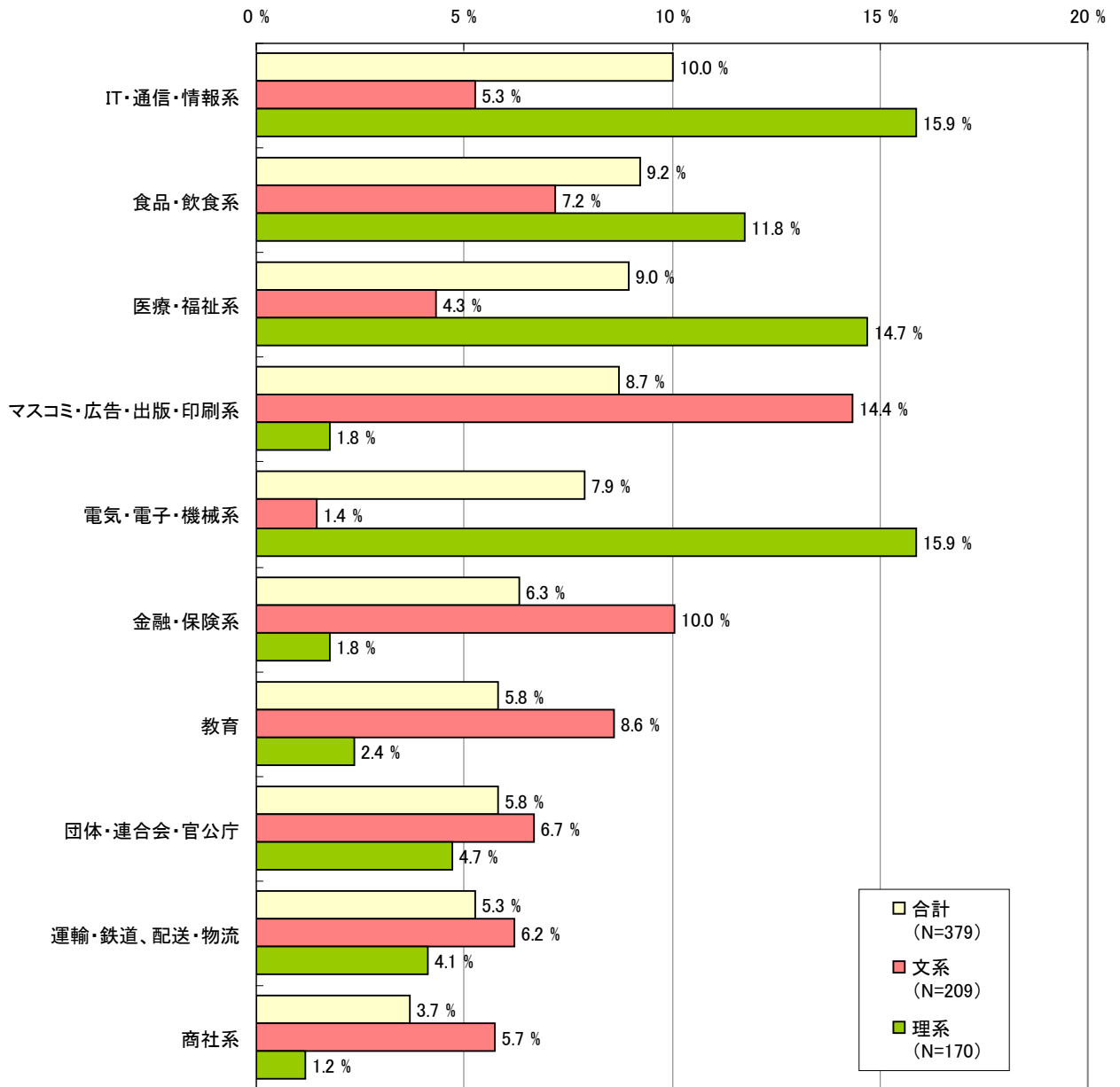
「食品・飲食系」に対する注目度アップ

Q1 あなたが今就職先として最も興味を持っている
業界についてお答えください。(上位10位)



「食品・飲食系」に対する注目度アップ

Q1 あなたが今就職先として最も興味を持っている
業界についてお答えください。(上位10位)



6割近くの学生が2009年7月から2009年12月までに就職活動を開始

「就職活動(会社説明会、就職セミナー、インターンシップへの参加)はいつ頃始めましたか?(始めますか?)」という質問をおこなった。

全体では、「2009年10～12月」の回答率が37.2%と最も高く、次いで「2009年7～9月」が21.6%と続き、6割近くの学生が2009年7月から2009年12月までに就職活動を開始するという結果であった。また「決めていない」が2割近くみられた。

昨年同時期にネットマイルで実施した同様の調査(N=200)では、全体では「2008年10～12月」の回答率が31.0%と最も高く、次いで「2008年7～9月」が16.0%、「2009年1～3月」が12.0%という結果であった。

昨年と比較すると、2011年度採用において就職活動をする学生の動き出しが、若干早まっている様子がうかがえた。

続けて、「就職活動はどのくらいの期間を予定していますか(どのくらいかかると思えますか)?」という質問をおこなった。

全体では、「3ヶ月未満」の回答率が3.4%、「4～6ヶ月未満」が23.7%、「9ヶ月未満」が18.2%、「1年未満」が12.1%、「1年以上」が5.3%という結果であった。また「未定(内定が出るまで続ける)」が28.2%と3割近くに達しており、就職活動の期間について、6割以上の学生が半年以上(「未定(内定が出るまで続ける)」を含む)を想定しているという結果であった。

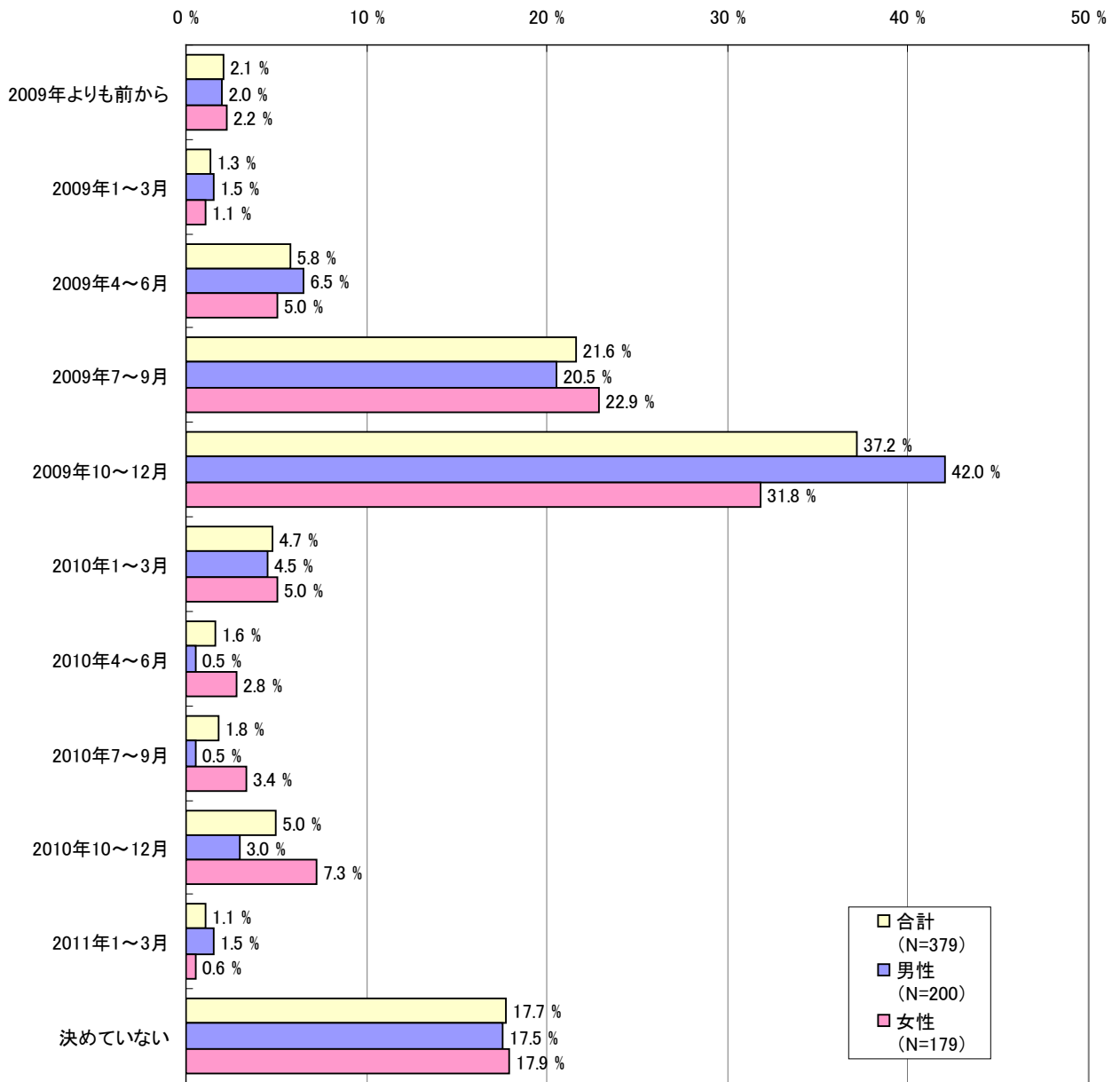
文系・理系別にみても、文系では「9ヶ月未満」が20.1%、理系では「4～6ヶ月未満」が31.8%とそれぞれ最も高かった。

昨年同時期にネットマイルで実施した同様の調査(N=200)では、全体では「3ヶ月未満」の回答率が5.0%、「6ヶ月未満」が31.0%、「9ヶ月未満」が15.5%、「1年未満」が12.5%、「1年以上」が2.0%、「内定が出るまで」が34.0%という結果であった。

昨年と比較しても、就職活動期間の予想に大きな変化はみられず、半年以上にわたる長期戦を覚悟している様子が垣間見られた。

6割近くの学生が2009年7月から2009年12月までに就職活動を開始

Q2 就職活動(会社説明会、就職セミナー、インターンシップへの参加)はいつ頃始めましたか？(始めますか？)



内定の数について“とにかく1つ”を願う学生が増加

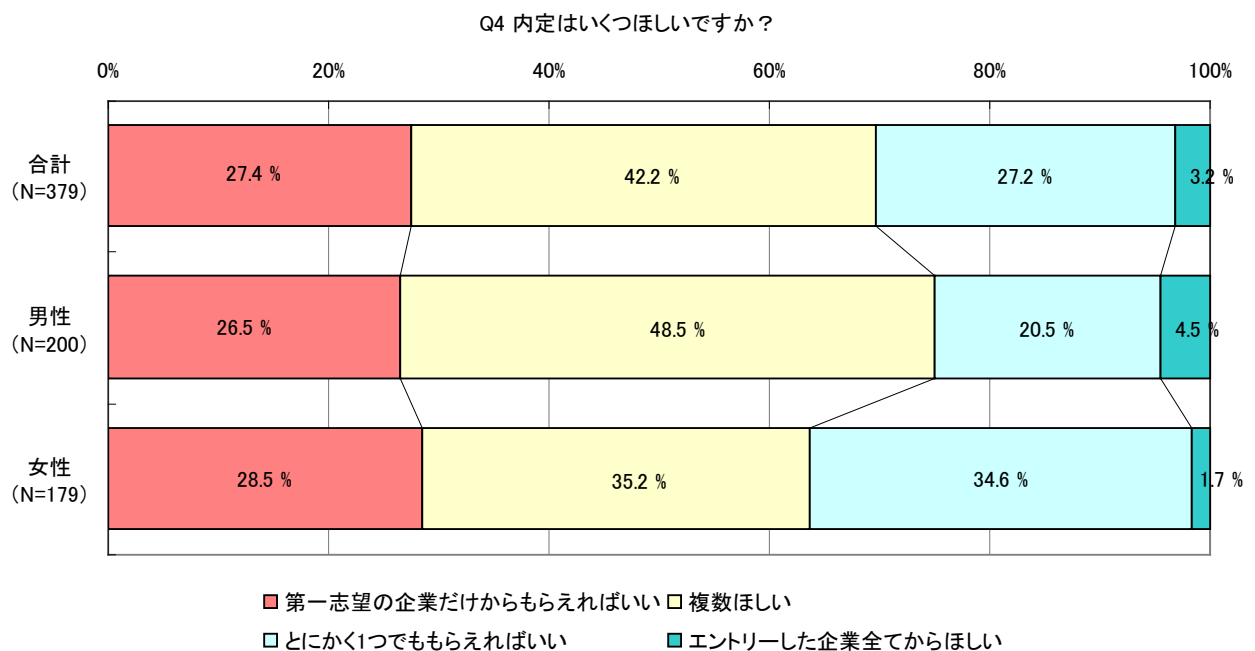
「内定はいくつほしいですか？」という質問をおこなった。

全体では、「第一志望の企業だけからもらえればいい」の回答率が27.4%、「複数ほしい」が42.2%、「とにかく1つでももらえればいい」は27.2%、「エントリーした企業全てからほしい」は3.2%という結果であった。

男女で比較してみると、「複数ほしい」では男性が48.5%、女性が35.2%と女性よりも男性、一方「とにかく1つでももらえればいい」では男性が20.5%、女性が34.6%と男性よりも女性の回答率が高かった。

昨年同時期にネットマイルで実施した同様の調査(N=200)では、全体では「第一志望の企業だけからもらえればいい」の回答率が24.0%、「2~3社からほしい」が51.5%、「とにかく1つでももらえればいい」が19.0%、「エントリーした企業全てからほしい」が5.5%という結果であった。

昨年と比較すると、“複数内定”を狙う学生は減少し、“とにかく1つ”を願う学生が増加した。



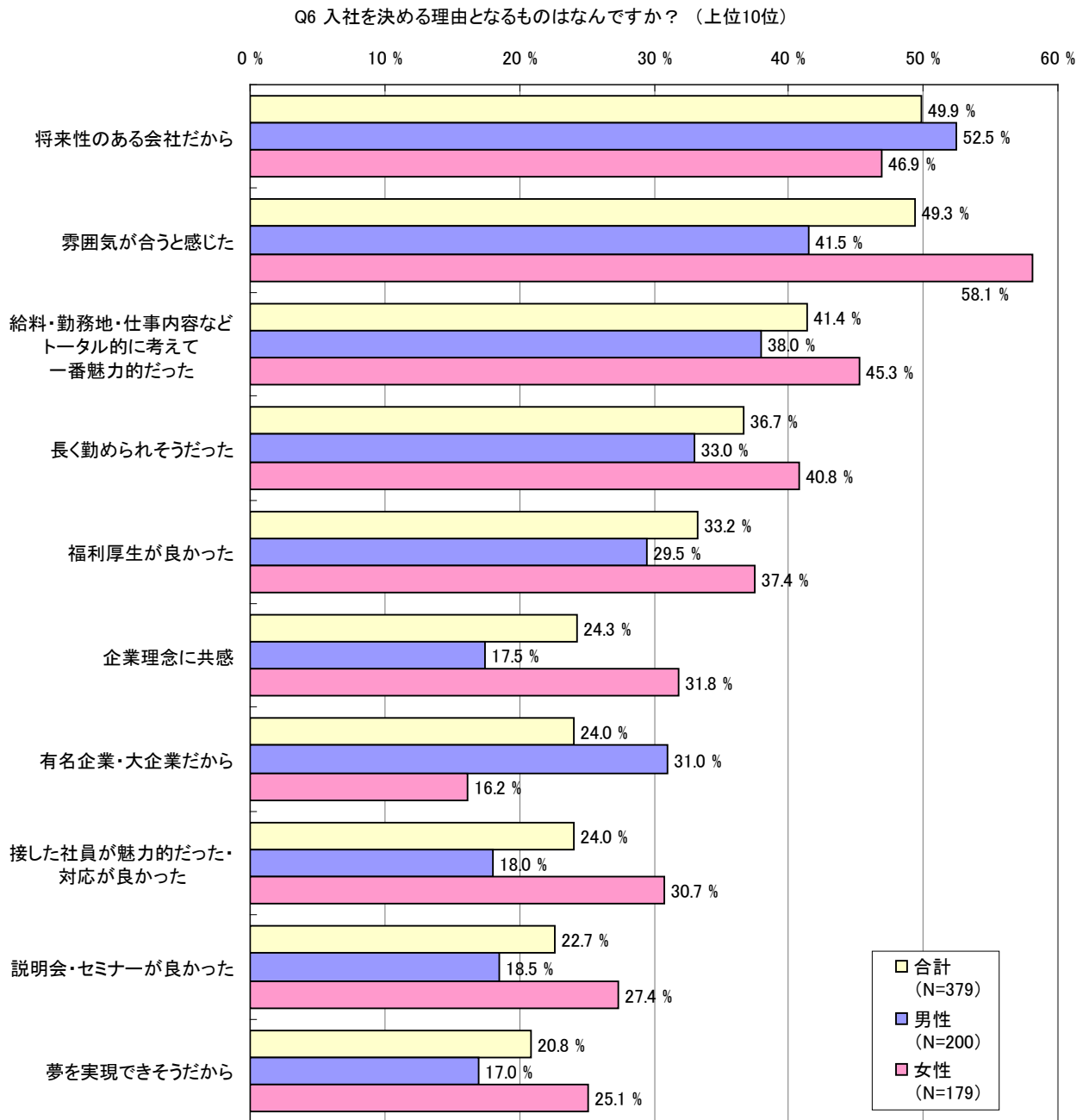
入社決定理由について、「有名企業・大企業だから」はランクダウン

「入社を決める理由となるものはなんですか？」という質問を複数回答でおこなった。全体では、1位が「将来性のある会社だから」49.9%、2位が「雰囲気が合うと感じた」49.3%、3位が「給料・勤務地・仕事内容などトータル的に考えて一番魅力的だった」41.4%、4位が「長く勤められそうだった」36.7%、5位が「福利厚生が良かった」33.2%という結果であった。男女で比較してみると、「有名企業・大企業だから」では女性よりも男性、一方「雰囲気が合うと感じた」「企業理念に共感」「接した社員が魅力的だった・対応が良かった」といった項目では男性よりも女性の回答率が高いという特徴がみられたが、その他の項目については全般的に男性よりも女性の回答率が高くなっており、女性の方が入社を決める理由を色々と考慮している様子が見えられた。

また、文系・理系で比較してみると、「有名企業・大企業だから」では文系よりも理系、一方「説明会・セミナーが良かった」では理系よりも文系の回答率が高かった。

昨年同時期にネットマイルで実施した同様の調査(N=200)では、全体1位が「将来性のある会社だから」で40.5%、2位が「雰囲気が合うと感じた」で38.0%、3位が「給料・勤務地・仕事内容などトータル的に考えて一番魅力的だった」で35.0%、4位が「有名企業・大企業だから」で29.5%、5位が「長く勤められそうだった」で27.5%という結果であった。昨年と比較すると、「有名企業・大企業だから」が順位・回答率ともにダウンした。

入社決定理由について、「有名企業・大企業だから」はランクダウン



就職活動をする上で力を入れること1位は「自己分析」と「面接対策」

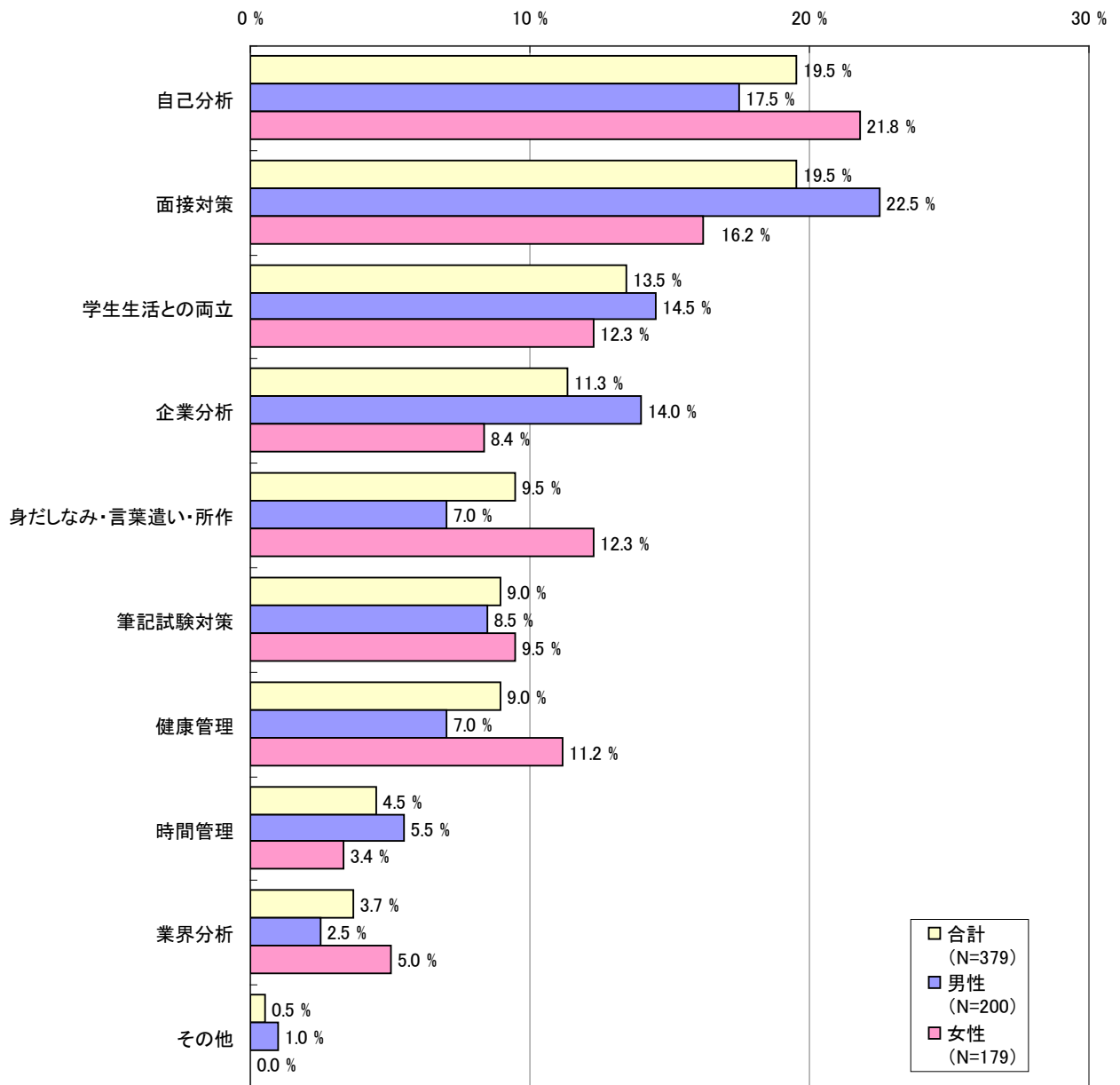
「今後就職活動をしていく中で、あなたが最も力を入れようと思っていることは何ですか？」という質問をおこなった。

全体では、「自己分析」と「面接対策」の回答率がともに19.5%と最も高く、次いで「学生生活との両立」が13.5%、「企業分析」が11.3%と続いた。

男女で比較してみると、「面接対策」や「企業分析」では女性よりも男性、一方「身だしなみ・言葉遣い・所作」では男性よりも女性の回答率が高かった。

また、文系・理系別にみても、文系では「自己分析」が20.1%、理系では「面接対策」が22.9%とそれぞれ最も高かった。

Q10 今後就職活動をしていく中で、
あなたが最も力を入れようと思っていることは何ですか？



“働く”とは「生きること」「自立すること」「貢献すること」

最後に、「あなたにとって、“働く”とは何ですか？」という質問を自由回答でおこなった。「生きること」や「お金」に関する回答が多く挙げられた他、「自己実現」「自立」「貢献」「生きがい」「やりがい」といったキーワードがみられた。